

泉大津市では一人一台端末を積極的に活用し、児童・生徒の学びを充実させています。

児童・生徒が“文房具”として、ごく自然にタブレット端末を活用しています。

自分の作品を撮影し送信

みんなの作品を瞬時に共有

意見交流も活発に！

調べてまとめたことを発表するための、スライド資料を使ってわかりやすく！

みんなの考え・意見を見て、自分の考えもさらに深めます！

プログラミングでロボットを動かす！

- ・ 家庭環境によらない学習機会の提供
- ・ 学習の自立に向けた段階的支援
- ・ 自立した家庭学習時間の増加
- ・ 基礎学力向上
- ・ 教員の意識改革
- ・ 教員の負担軽減

一人一台端末は「文房具の一つ」

- ・ 授業での活用
- ・ 毎日の持ち帰り
- ・ 休校時の課題やオンライン授業

ICT機器の活用度の向上

～令和3・4・5年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より～

質問の主旨	校種	年度	全国	大阪府	泉大津市
前の学年までの授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか (ほぼ毎日と回答)	小学校	R3	11.2%	12.1%	22.5%
		R4	26.7%	24.5%	59.2%
		R5	28.2%	24.9%	63.0%
	中学校	R3	7.4%	9.5%	19.6%
		R4	21.6%	21.3%	53.9%
		R5	28.1%	26.4%	63.1%

全国学力・学習状況調査からは、一人一台端末を「ほぼ毎日活用している」と回答した児童・生徒が大変多く、高い活用度を見取ることができています。

本市では、このような児童・生徒の高いICT活用度をベースに、情報モラル教育（デジタルシティズンシップ教育）を充実させ、より良い授業づくり・個別最適な学びと協働的な学びの実現に生かしていきます。